

伊台地区タウンミーティング(要約)

テーマ：伊台地区のまちづくりについて

令和6年1月26日（金曜日）

【市長】 皆さん改めましてこんばんは。まず、1月1日元日に発生をいたしました、能登半島地震で亡くなられた方々、そして、その被災地に支援物資を届けようとしていた海上保安庁の飛行機の事故で、亡くなった5名の隊員の方々に心から哀悼の意を表しますとともに、地震の被害に遭われている皆様方に、心からお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧を願っています。松山市のタウンミーティング、今日、伊台地区3回目なんですけれども、参加された方々から、松山市の取り組みがわかってよかったという声を多数いただくものですから、広報タイムを途中、設けているんですね。1つ目、家具転倒防止対策の必要性、そして2つ目、AEDの使い方、2つについて、今日、広報タイムでお知らせをさせていただきます。実は、家具転倒防止対策の必要性を話させていただく職員ですが、被災地から帰ってきたばかりです。防災・危機管理課の職員なんですけれども、被災地の輪島でどういうことを見てきたのか、そんなことも含めて、皆さんに家具転倒防止対策の必要性についてお話をできればと思います。今日、週末の金曜日でございます。いろいろとお忙しかったのではないかなと思いますけども、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の開催に際しましては、伊台地区まちづくり協議会の会長さん、そして、伊台公民館長さんを初め、役員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。このタウンミーティングですが、私が市長に就任をさせていただいてから始めさせていただいています。市長の任期は、1期は4年なんですけれども、松山市は地区でいうと41地区に分かれます。松山と旧北条と旧中島町で、合わせて41地区に分かれますが、地区ごとにタウンミーティングをやっています、1期目で、まず41地区を2巡りさせていただきました。そして、2期目からは、この地域別のタウンミーティングに加えて、世代別のタウンミーティング、職業別のタウンミーティングをしています。世代別で言いますと、高校生や大学生、専門学校の皆さんとのタウンミーティング、子育て世代の皆さんとのタウンミーティング、働く世代の方々とのタウンミーティング、そして若手の社会人の方々のタウンミーティング、また、人生の先輩方、シルバー世代とのタウンミーティング、また、職業別のタウンミーティングで言いますと、農業をされている方々のタウンミーティング、商店街の方々とのタウンミーティング、いろいろと角度を変えながら、皆さんの声を聞かせてほしいとい

うことで、タウンミーティングを重ねさせていただいています。また、コロナで経済がなかなか難しくなっている時は、経済の実態をよく知っている、金融機関の方々に集まっていただいて、タウンミーティングをさせていただいています。今日は、134回目のタウンミーティングとなります。いただいたご意見はできるだけこの場でお答えをして帰るのですが、中には、国と関係する案件、愛媛県と関係する案件も、いい加減な返事をして帰るわけにはいきません。財政的にもよく考えなければいけない、そういうものはいいい加減な返事をして帰るわけにはいきませんので、一旦持ち帰らせていただいて、1カ月を目処に、必ずお返事をするというのが、このタウンミーティングの特徴です。今日は、これからの伊台地区のまちづくりについて、有意義な意見交換をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 2年ぐらい前に、地域代表者会の方から、公衆便所が白水台に3つ、道後平に2つ、本村に1つ、それだけしかないのはおかしいんじゃないかということで、下伊台に作ってほしいということで、位置的にも客王神社が、全体の散歩コースとか、いろんな活動の中心になるので、土地を提供するので作ってほしいと陳情したのですが、最低、6年から7年かかる。それでは、今の年を取っている人が待てないので、寄付を集めて作りました。寄付を集めて作ったのはいいのですが、1年半になります。なかなか維持管理が、神社は貧乏なので、できにくくなっています。そして今、結構いろんな人がコミュニティの場として使ってくれています。本当にありがたいことだと思っています。幼稚園の子、老人、いろんな人が来て利用してくれていますので、この際に、市役所の方で、公園でも何でも維持管理を、検討していただけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

【都市・交通計画課長】 松山市では、土地の無償提供とか、あと周辺に公園がないなどの条件を満たすことで、松山市の公園として整備が可能となっています。先ほどのご意見は、「みんなのトイレ」という形で、地元の有志の方が、令和4年10月に客王神社に整備されたトイレのことだとお聞きしています。この場所は地元の方から、神社を参拝される方だけではなく、子供たちが遊んだり、幅広い年代の方が散歩に訪れたりするなど、地域の皆さんが気軽に集う、古くから親しまれてきた場所と聞いています。既に地元の方から、そういったこともあって、このみんなのトイレ周辺の土地に関して、土地を無償で提供をするので、松山市の公園として、将来的に維持管理をお願いしたいという相談を受けています。そういった中、

近くに公園がないということと、実際、浄化槽が設置されていると思うのですが、その規模を今確認させていただいています。それを踏まえて、松山市で検討した結果、そこについては、新規整備の公園として、今後の整備予定に反映していくということになっています。先ほどの課題となっている浄化槽の大きさ、安全面を踏まえたフェンスの改修などについて、将来的に松山市が行うようになります。時期については、整備予定の他の公園と調整を図りながら検討を行っていきます。それについて、公園として整備するには、地元からの要望書を出していただきたいと思っていますので、担当の公園緑地課とご相談をいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【市長】 無償提供いただいたということで、ありがとうございます。今のお話だと、浄化槽がちょっとちっちゃいんですか。

【男性】 今のはそうですね。

【都市・交通計画課長】 地区の公園として市が整備する場合は、どうしても不特定多数の方が使われるということで、浄化槽の何人槽は大きいものが必要となります。今はちょっとちっちゃめの浄化槽になっていますので、それについて将来的に要望書をいただきましたら、市の方で大きな浄化槽に建て替えた上で、公園として整備をする形で考えていますので、まずは要望書の方をあげていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【男性】 先ほどのご提案に引き続いてです。私の方からは防災関係、いわゆる自主避難場所のことを。今現在、私は担当で考えているところなんですけれども、伊台は平たいところが本当にごく少なくて、例えば停電になった時には、いきなり水が出なくなる。全部、簡易上水道ですので。発電機を持って行って、使えるようなところはないんですよ。公民館にしても、全部動力なので。ところが、客王神社の水は、地下水で、100ボルトの小さいポンプで汲み上げていて、しかも水質検査も終わっていません。飲料水として飲用ができる。しかも発電機1台あれば、トイレと浄化槽も回せる。いわゆる停電になっても、水も出るし、飲める、トイレの確保もできる。駐車場も、30～40台軽く置けるぐらいの広さがあるので、自主避難場所の1つとして、私は考えています。そこを勘案してもらって、維持管理費を今、実は地元の寄付で賄っている状況です。非常に脆弱だと思います。これを何とか市の方で、維持管理費だけでも出していただきたい。公園という枠にはまらずに、防災避難場所、自主避難場所を継続的に確保したいという意味から、維持管理を今の脆弱な状態から、非常に安定

した状況に持って行っていただきたいと考えていますので、そこは公園にこだわらず、一つ考えていただければと思います。今日は防災・危機管理課の方も来られていると思いますので、また一つ横の繋がりを持って、検討していただけたらと思います。よろしくお願いします。

【市長】 今、言っていただいた客王神社のところの公園だけではなくて、自主避難所にどうだろうかというようなお話がありました。

【防災・危機管理課長】 皆さんいつもお世話になっています。先ほどお話のあった、一時避難場所を活用することは、地元の方で決めていただく。その指導をして、皆さんにそういうところがあるんですよ、まずはここに避難しましょう、ということをしていただくことができるのであれば、我々はそのに対して、十分協力をさせていただく。その中で、どうしても発電機がいる。その発電機が必要であれば、今、地区の公民館と伊台小学校と旭中学校には発電機を元々貸与しています。それを使っていただくことは十分可能です。ただ、それだけでは足りない、どうしてもここにいるという要望があるようであれば、うちにストックがありますので、それはお渡しすることもできます。またご相談いただいたらと思います。よろしくお願いします。

【市長】 今、もうまさに元日に地震があつて、皆さん、その映像を見られたので、ご不安だと思いますけれども、言ってもらった方がいいですから、うちにはこんな場所があるんやけど、どうだろうかとか。どうせ市役所に言っただけで変わらないではなくて、言っていただいたら、こういうやり方ができますよとか、こういうやり方はできないんだけど、こういうやり方がありますよとか、他の地区だとこうしてるところがありますよとか、そういう情報もお伝えすることができるので、遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 お世話になります。細々と農業やりながら、市長にはブドウの品評会、表彰式においでいただきまして、ありがとうございます。私もぜひ市長賞を取りたいと思って頑張っているのですが、いずれそのようにしたいと思って頑張っています。今日は、先ほどの関連になるのですが、この伊台公民館の設備のことについてお願いをしたいと思います。先ほど出ていますように、この伊台公民館は、自主避難所になっていることはもちろんのことなのですが、いろんな公民館は、コミュニティ事業あるいは教育事業も幅広く、乳飲み子から幼児・保育園、小学校、中学校を含めて高齢者の方まで、年間の事業数でも数十を数えまして、ほぼ毎日のように、ここは利用していただいています。そんな中で、まず設備のことな

のですが、3点お願いがあります。まずはこの2階に上がれない人がいます。1階はバリアフリーになってスロープがあるのですが、2階へは上がれない。もちろん3階以上は今、市内で順次つけていることは存じているのですが、3階に上がれない人が2階に上がるわけでもないので、ぜひとも2階に何とか昇降できるような装置が欲しい。と同時に、ここの高齢者等は特にトイレの問題がありまして、和式のトイレと洋式のトイレ、両方あるのですが、今、和式のトイレでできる方というのが、高齢者の方は特に座れないので、何とかしてくれないかというご意見がたくさんあります。幼児の方も、最近は座ってトイレする方がたくさん増えていて、小学生も、どちらかというとな洋式よりは洋式の方が用を足しやすいような状況になっています。先ほどの災害関連で、公民館は避難所になっているのですが、当然停電とかいろんなこと起こります。停電した時に、ここ設備は一切動かなくなる可能性があって、発電機を買っていただいているのですが、あの発電機では動力は動きません。全く動きませんので、発電機を買っていただくなら、もう少し容量の大きいもの。ここは一日中日が当たりますので、できればソーラーをつけていただく。そして普段にも活用したいし、災害時にもソーラーを活用したいと思います。もっと欲を言うと、小さい子はこの床に、子育てサロンを月3回やっているのですが、冬は床に毛布を敷いてやっていて、大変床が冷たいんです。できれば床暖とかがあれば、大変助かります。伊台保育園は床暖房つけていただいています。ぜひお願いいたします。

【市長】 ちょっと私の方から言わせていただこうかな。できるだけわかりやすく話したいと思います。先ほど申し上げた41地区あって、その41地区ごとに公民館本館があります。実は、昔はそこまで考えてなかったのだと思うのですが、例えば、味酒公民館は4階建てで、エレベーターはついてなかったんですよ。公民館行事で私行かせていただいたら、もう人生の先輩方が一生懸命に階段登ってらっしゃって、「もう市長さん、私ら待ちよったら、いつのことになるかわからん、どうぞ先に市長さん上がって」と言っていたるものですから、先に上がらせていただいて、みたいなことがありました。けれども、やっぱり、高齢の方、高齢化社会進んでいますので、エレベーターがないとなかなか難しいなということで、今期の公約で、味酒は既にエレベーターをつけることができました。例えば、久米公民館とか道後公民館とか素鷲公民館、素鷲公民館はこのあいだついたのですけれども、まだ3階建ての公民館で、エレベーターがついてないところは5つ残ってしまっていて、今一生懸命、3階建てにエレベーターをつけているところなんです。今度2階建てということになるのですが、公民

館の長寿命化の中で、できたら早く計画的にやっていければと思っています。トイレのことはよく分かります。今の小学校・中学校のトイレの洋式化を進めていますので、そういった中でまた考えていければと思っています。発電機の話は、防災・危機管理課からお答えをいただけたらと思います。あと、床暖房のことです。実は、この仕事をさせていただいて悩ましいのが、やっぱり昭和50年代ぐらいの良い時代だった時に、人口も増えていって経済もどんどん大きくなっていくという時代に建てたものがすごく多いんです。それが今、ちょうど再編の時期に差しかかっているとところ。例えば、問屋町に松山の中央卸売市場があります。かなり古くなっているんです。例えば、小学校・中学校だったり、公民館だったり、そういう古くなったものを、ちょうど40年50年経って建て替える時期になっています。今の松山市だけじゃなくて、全国大体そういう状況です。とてもお金が要る時期を迎えているので、ちょっと計画的に、いろいろと考えていければと思います。「それやります」って言った方が私も楽なのですが、後の世代に負担を残すわけにはいかないので、計画的にやっていければと思いますので、どうぞご理解よろしくをお願いします。

【生涯学習政策課長】 ソーラーの発電システムのことを言われたので、その視点でお答えさせていただければと思います。松山市では、第6期松山市温暖化対策実行計画に基づきまして、太陽光発電システムの普及を推進しています。計画では、日照条件や屋根の使用条件とか、災害リスクを考えた上で、設置可能な候補地を精査することにしていまして、現在、市内の小中学校施設を中心に、88カ所に設置しているような状況になっています。このように、太陽光発電装置を設置するには、建物の構造や日照条件などを確認する必要があります。そうしたことから伊台公民館への太陽光発電装置の設置につきましては、学校施設等の長寿命化計画等に基づいて、大規模改修の時に検討したいと現状ではと思っています。

【防災・危機管理課長】 先ほど発電機のことをご質問いただきました。松山市が主要となる避難所に分散配備している発電機は、インバーター付きの発電機で、割と高性能なものです。どのようなものに使用するかというと、まず情報を収集するためのテレビとか、スマートフォンの充電、照明のようなものに使用する。あと、ご自宅でいろんな医療機器、発電機を使つての医療機器があるかと思っています。もしそういった方がバッテリー切れでこちらに来られた時も、その発電機で医療機器が動かせるという、優れものではあるのですが、言われるように、発電量、電力は小さいです。ただ、この小さい電力で、この大きな公民館施設の電力を全て賄うことはできません。なかなか使用用途が違う、ということをご理解いただいたら

と思います。よろしく申し上げます。

【市長】 新たな視点を教えていただきました。公民館にどれぐらいの方が避難してくるのか、そこで発電について賄えるのかということは、また一つチェックをしたいと思います。ありがとうございます。

広報タイム①「家具転倒防止対策の必要性」

【男性】 お世話になります。農業をしているのですが、農業のことだけではなくて、子育て世代として、お伺いしたいことがあります。今子供が2人いまして、もうすぐ、1年少ししたら小学校に上がる上の子がいます。僕が小さい頃に比べて、だいぶ伊台の周りの道も、大きい車が通るようになって、なかなか伊台小学校や伊台保育園等、通わせたり、また自分たちが送り迎えしたりするのも、歩道を歩いていても少し危ないな、怖いなと思うことがちょっとあります。実際子供を小学校に行かせる時に、登下校等、何とか教えるつもりではあるのですが、少し登下校させるのが怖いと思う時があって、ちょっと学校の周辺だけでも、これからガードレールなど、子供が危なくないような施設を整備する計画があるのかどうか、お伺いしたくて質問させていただきました。

【市長】 分かりました。ホームページから、伊台小学校エリアの交通安全マップ出せますか。松山市のホームページの中に、こうやって学校別に地図を出しているのですが、通学路の合同点検対策箇所図と書いてます。こちら、平成29年、線が薄くなっていますとか、平成29年、交差点を車がスピードを落とさずに通過することがあり、注意が必要ですということでマークを設置しましたとか、令和3年にとか、こういうのを全て出しています。元々は、京都だったと記憶しています。亀岡市です。私が就任して2、3年ぐらいだったでしょうか。通学をしていたお子さんと保護者の方の列に、一晩中車の運転をしていた若者の軽自動車が突っ込んで、事故が起こったということがあって、やっぱり松山ではこういう事故が起こってはいけないということで、すぐの夏休みの時に、国道があるので、松山国道事務所の方、国ですね、そして県道もありますので県の方で、松山市の担当ももちろん、学校の先生方、保護者の方、PTAの方と一緒にあって、通学路の緊急点検をさせていただきました。これは、松山に小学校53校あるのですが、全部でやっています。こういう通学路の点検を、やっぱり4～5年経ったら状況も変わりますので、その時だけじゃなくて、何年かごとにやっています。ちょっと危ないんじゃないかなというところがあったら、遠慮なく言ってください。どこに言ってもらうのがいいかな。

もうすぐ小学校に上がるということですね。うちも2人子供がいます。もうだいぶ大きいですけど、とても気持ち分かります。小学校に上がる時とか、行けるんやろか、とか不安ですよ。ですので、ちょっと危ないなというところがあったら、言っていただいたら、できる限りの対処をしていきます。ちょっと難しいのが、一般的な例で、「水路を塞いでくれたらいいのに」というのがあるのですが、水路が難しいのは、水路は土地改良区ですとか、農業をされてる方が水路を使われているんですよ。蓋をされたら、掃除が困る、詰まった時に困る、みたいなことがあるので、そういう水路を使っている方のご理解をいただかないといけません。ご理解いただいて、道を広げた場合、抜け道になってしまって、逆にそこを車がどんどんどんどんスピードを上げて通るようになって、危なくなるということもあります。そういうことも考えながら、周辺の方のご理解をいただきながら整備を進めていくのと、本当はガードレールをつけた方がいいんだけど、ガードレールをつけたら、沿線の方の車庫入れができなくなるというようなこともあったりして、その沿線の方々との利用条件もあったりするんです。それで、グリーンを塗装したりとか、水路に落ちないように、デリニエーターといって、反射材をつけたりとか、箇所、箇所でするいろんな対策をしていますので、遠慮なく、危ないなというところがあったら、学校の方に言っていただいたらと思いますので、よろしくお願いします。

【女性】 ついてます。

【市長】 ついてるんですね。ありがとうございます。本当、道がついたりしたら、昔は平井の方まで道が繋がってなかったの、平井の方と道が繋がったら、また状況も変わります。また危ないなというところがあったら遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【女性】 サロンの運営について、以前に私は、社協のタウンミーティングに参加させていただきました。サロンを続けていくために、社協から援助金をいただいているのですが、みんなで楽しく、1カ月に2回ぐらいは誰かと喋って、誰かと食べようみたいなことを、健康寿命を伸ばす目的としてやっているのですが、公民館の使用料は減免ということで、とてもありがたいと思っています。その当時、社協のバスがありましたよね。それで、会とか時間とかは制限があったのですが、いろんなところに行けて、みんなすごく楽しみにしていたんです。今、ある程度の年齢の方が、私達もその運営してから14～15年になるので、その分だけ私達も年を取ってきたんですよ。やっぱりみんな、ここで集まって、いろいろするのもいいのですが、やっぱりどこかに出かけたい。そういうのがあるんです。

それで、近場だとか動物園とか、いろんなどころに出かけたりはするのですが、そうすると、今、現在の状態は、個人の車を出してもらって、それで行っているという形なんですね。そうすると、みんなも年を取っているので、乗せる方も心配だし、出して言うのも心配だし、乗る方も心配です。ご存知のように、ここはとても交通の便が悪いところなので、気楽になかなか移動できません。それで、ツアーとかに参加という考えもあるのですが、そうするとやっぱりツアーは会社側の考え方があって、いろんなことが詰め込まれて、ゆっくり行きたい、どこか1カ所、2カ所でもいいから、ゆっくり行きたいというのにはちょっと当てはまらないんですよ。できれば、以前のようにバス、その後、ガソリン代だけ出してくださるといいう話にもなっていたのですが、そういう方向に今からはならないのでしょうか。

【市長】 お答えさせていただきます。まず、バスの話は、確かにあったんです。社会福祉協議会がバスを持っていて、そのバスがだいぶ老朽化してきたのと、運転手さんの問題があったのですかね。今、サロンのお話がありました。人生の先輩方が家で孤独になるよりかは、やっぱりたまに集っていただいて、お話ししていただいたらやっぱりいいのですが、コロナでちょっと集まりにくくなったですよ。それを受けて今、緩和型のサロンというのをやり始めてまして、昔は人数もうちょっと多かったですよ、そこまで集まらなくていいですよ、5人以上でいいですよとか、月に何回とかじゃなくても、月に1回以上でいいですよ、30分以上、必要な体操とか、そういう活動をしてもらったら、立ち上げることができる、緩和型サロンを令和5年だから、去年の4月から立ち上げました。コロナの影響を受けて、ちょっと変えましょうねということでやっています。やっぱり、高齢の方が集っていただく、繋がっていただくっていうのは大事ですので、それを大事にしていきたいと思えます。バスのことについてお願いします。

【保健福祉政策課長】 市長から申し上げましたように、もう10年くらい前になるかと思えますけれども、老朽化と、やはり運転手の確保というようなところもありまして、バスの方は廃止させていただいています。サロンの見直しなどと併せて、この地域交流サロンというのを始めさせていただいていますので、本来、昔の地域交流サロンは5年間とか、期間を区切ってというような考え方もしていたのですが、今は、社協の方も、できるだけ支援をしていきたいというようなことで、お聞きしています。申し訳ありませんが、活動の方はこういった地域交流サロン、または、先ほど申し上げました、緩和型サロンなどをご活用いただければと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 すいません、よい返事ができなくて申し訳ないです。悩ましいのは、その運転手の確保、そしてバスの確保、やっぱり、そのバスで行っている時に何かあってもいけないというのがあって、そういうのでちょっと難しくはなっているんです。けれども、ニーズとして他のタウンミーティングでも、バスって何とかならないのかなってというのは言われたことはありますので、参考にさせていただきます。

【男性】 お世話になります。旭中学校の校舎、ちょうど生徒が授業を受けるクラスがある方が、大方、南側を向いているのですが、ちょっと竹が生えている関係で、冬場は1日、日が差さない。その竹に関しては、もう地元の人達と話して、どうにかするしかないのですが、園芸部が花壇とかをしていて、もうブシュブシュになっている状態なんです。ぬかるみやすい状態になっているので、その辺、ちょっと学校の方として、何か対策をしていただけたらと思います。子供たちがやっぱり通ったりもして、ずっとぬかるんでいる感じにはなっていますので、ちょっと考えていただけたらと思います。

【市長】 分かりました。竹は民有地ですか。一般の個人所有の方のところの竹ですか。

【男性】 個人所有です。ちょうど道を挟んでいるので、ちょっと日が差さないような形になっています。

【生涯学習政策課長】 細かい場所と状況の方は、ちょっと今のところは分かりませんが、旭中学校でそういうことがあるということをお聞きしましたので、担当の学習施設課の方に伝えまして、状況を確認させていただいて、1カ月以内の回答で、できることがあれば、回答させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【市長】 早速見させていただきます。

【男性】 地域限定の話で恐縮なのですが、通称、道後平の外れに住んでいまして、昨年、道後平のバス、それから、道後平線ですね、道後平まで上がっていたバスが廃止になりまして、実川行き、また桜組、梅組等のバスも廃止になりました。バスを見ていると、乗っている方が1名2名で、廃止もやむを得ないと思うのですが、将来的に、私も含め、もうそろそろ免許返納の年代で、これから免許返納される方も増えてくると思われま。特に道後平、地域限定の話なのですが、停留所にあります白水台まで下りる坂がすごくきついです。ですので、下る時はいいのですが、登る時は3回休憩しないと登れないですよ。そういう状態なので、将来的

にですが、利用者がアンケート等をとって、増えることがありましたら、また復帰してもらえるのでしょうか。

【都市・交通計画課長】 まず、地域の皆さんの足となる、公共交通網のバスを将来にわたって維持していくことは非常に重要だとは考えています。先ほどご説明ありましたように、伊台地区では、令和3年3月末に、伊予鉄バス株式会社の五明線の一部、それらには道後平も含まれていると思うのですが、廃止とか、運行時間の変更を行って、名称も伊台線に変わっています。土日祝日の便は、一便減りましたが、平日は維持されています。バス路線の見直しについては、伊予鉄バス株式会社の方に問い合わせたところ、「燃料価格の高騰による経費の増加や運転手不足で、現時点では大変厳しい状況」と伺っていますので、松山市としては、今後も引き続き伊予鉄バス株式会社に財政支援を行うなど、路線の維持確保に努めていきたいと思っています。ただ、それだけではかなり厳しいと思っていますので、松山市では、先ほどのような廃止区間となった地域の皆さんの生活の足を確保するため、多分ご存知の方もいるとは思いますが、地域の代表の皆さんと、地元のタクシー会社と協議を重ねて、この地区では皆さんの「あいみょん号」という予約制の乗り合いタクシーを実証運行という形でさせていただいています。その運行の時間帯とか、どこに停まるかというのを、今現在、地域の方々と協議をさせていただいています。現時点で、予約制ということで、何時にどこに停まって、どこからどこに行けるといような形で運行させていただいてるのですが、例えば将来的に、道後平の方で、停留所を増やしてほしいとのご意見もあろうかと思えます。現時点では、市の方が間に入って、地域の方の声もしっかりと聞きながら、予約制の乗り合いタクシーを上手に運行したいと考えていますので、またそういった声がありましたら、気兼ねなく都市・交通計画課の方にご相談いただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

【市長】 バスがなくなってしまって、あとは知らんではなくて、今、予約制乗り合いタクシー「あいみょん号」があります。あいみょんっていう歌手の方いらっしゃるんですけども、旭中のマスコットキャラクターですよ。「あ」は旭中の「あ」、「い」は伊台小の「い」、そして、五明小の「みよ（ん）」で、旭中のマスコットキャラクター、平成24年度に決まったそうですが、あいみょんっていう旭中のキャラクターがいて、それから取った「あいみょん号」予約制乗り合いタクシーの実証運行を行っているということです。それについてお伝えしました。

【男性】 今の話に関連してなんですけども、地元で1事例ありまして、

お兄さんが、ある受験資格の必要な小学校に通っていて、弟さんが受験をしたいと言った時に、受験資格の中に、「公共交通が利用できること」というのがありまして、受験ができないということがありました。結局、そのご家庭がどうなったかは分かりませんが、引っ越ししたとか、そういう話も聞きました。そういう状況がある中、この予約のデマンド的なタクシーが、公共交通にあたるのか、というところの視点はいかがでしょうか。

【市長】 即答は難しいかもしれませんが、何か言えることありますか。ちょっとこれは、中学の受験ですか。小学校ですか。小学校、だったら、多分あの小学校かなというのが浮かびますよね。ちょっと学校の方に聞いてみます。やっぱり、それで転校しなくちゃいけないっていったら、なかなか難しいと思いますので、私も松山市の方から聞かせていただいて、学校の判断で、「それはどうしても駄目なんですよ」っておっしゃるかもしれませんし、「いや、大丈夫ですよ」っておっしゃるかもしれませんので、市民の皆さんの声として、お届けさせていただいたらと思います。

広報タイム②「AEDの使い方」

【男性】 ローカルな話で、なかなか手を挙げにくかったんですけども、私達のところでは、上水道、下水道ともに地域の管理組合が管理します。これは開発の時から経緯だということなんですけど、私が来たのが20年ぐらい前です。その時には、ある意味完成された形になっていまして、それが当たり前ということで。あんまり不思議というか、分かっていなかったのですが、実際にこの災害の問題と老朽化で、設備そのもののことを考えたら、これは果たして私達の手だけで安全性、ライフラインを維持できるのかということに不安を感じるようになってきました。ぜひとも市の方で、ライフラインとして考えていただけたらと思ひまして。

【企業局 企画総務課長】 水道と下水道、両方のお話だと思います。順番にまず水道から、お答えしたいと思います。伊台地区については、現在、上水道事業の給水区域ではないため、上水道は整備することができない状況です。松山市としても、この区域を広げていきたいというふうに考えてはいますが、そのためには、国の許可が必要になります。国の許可をもらうためには何が必要かという、安定的に水を供給できる水源を確保しなければならないことになっています。松山市は元々、水源が非常に乏しい状況です。市内には他にも、給水区域でない地域があります。この区域を広げることができるようにするために、現在、新規水源の確保策について

検討しています。そうしたことから、水道の整備ができるのは、新規水源が確保できた段階からということになっていきますので、ご理解をいただいたらと思います。それともう一つ、下水道についてですが、松山市は原則、市街化区域が公共下水道で、市街化調整区域は、合併処理浄化槽で汚水进行处理するという方針で進めています。伊台地区については、現時点でこの公共下水道の事業区域ではないという状況になっていきますので、浄化槽などによって汚水処理を行っていただくことになっていきます。申し訳ありません、ご理解をいただいたらと思います。

【市長】 法律上、設置者が行うということになっているんですね。今の上水道の法律をゆっくり言っていたらいいですか。

【企業局 企画総務課長】 今の説明は、市が公営企業局として、水道や下水道を整備することはできないのか、というお話でした。今現在ご使用になられている専用水道等については、給水区域外に開発された白水台団地などの住宅団地については、水道施設の設置者が、安全な水を安定して給水することを前提にして、分譲されているものです。水道施設は法令等によって、設置者が維持管理を行うことになっています。汚水の方も、集合処理浄化槽等で処理をしていると思うのですが、これも法令等によって、浄化槽の管理者が維持管理を行うということになっていますので、ご理解いただいたらと思います。

【市長】 日頃の維持管理は、やはり設置者の方が、ということになりますが、もちろん大きな災害が起こって、伊台地区で水が出なくなった場合は、それは設置者でしょうということにはならないので、その際はもちろん、我々行政が助けに行くということになります。日頃の維持管理については、設置者の方でしていただくというのが法律で決まっていますので、ご理解をいただいたらと思います。

【女性】 ちょっとお伺いしたいのですが、要望です。要するに、補助費が、合併処理浄化槽の補助費、だんだん減っていきますでしょう。検査料は上がっているんですよ。それでもって補助費は下がるんですよ。非常にひっ迫していますので、そこのところ、よろしく願いいたします。

【環境指導課長】 ご質問ありがとうございます。合併処理浄化槽の維持管理の指導をしている課です。言われているのは、合併処理浄化槽の維持管理に伴う補助金のことだと思います。先般見直しさせていただきました、1万円だったのを急に下げるのは影響があるということで、頑張って段階的に下げさせていただき、今は8,000円とさせていただきました。これは何かと申しますと、一般的な浄化槽、単独槽を合併処理浄化槽に変え

た際に、その分、余分な経費が必要になってきますので、その分についてお支払いをするというような考え方で、その金額を設定させていただいています。その金額に関してですが、最近の合併処理浄化槽も優秀になってきて、電力でありますとか、その差額については、大体8,000円ぐらいになり、逆に、補助金の方をだいぶお支払いする形になっていました。そうなってくると、やっぱりこの財政状況の中で、1人でも多く長く、維持管理費を補助したい。浄化槽は、単独槽と合併処理浄化槽がありまして、単独槽は、生活雑排水がそのまま流れていきますので、河川を汚染する可能性が高いです。法的な義務はないにしろ、合併処理浄化槽に早く変えていただきたいというようなこともあって、この補助制度を始めました。そういった意味で、差額分をお支払いするという形で値下げをさせていただいたということで、ご理解いただければと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 我々も、値上げはしたくないんです。補助もできるだけ下げたくないんです。でも、どうしても、せざるを得ないということがあります。例えば、上水道のことで言いますと、上水道が耐震化できていないと、能登半島地震がそうであったように、やはり水道管が破裂してしまい、皆さんに綺麗な水をお届けすることができないので、やはり上水道の耐震化はとても必要です。上水道・下水道の工事をしようと思ったら、土の中のことなので、とてもお金がかかります。家計と一緒に、決まったお財布、ある程度決まったお財布の中でやっているの、どこかでお金があるとしたら、どこかをメリハリをつけながらやらないと、どうしてもしょうがない状況になってしまいます。水道料金も値上げはしたくないのだけれども、上げざるを得ないとか、補助もちょっと額を下げざるを得ないというような状況にあります。できるだけ皆さんの声をいただきながら、値上げもしたくない、補助も切りたくないという状況ですが、せざるを得ないということで、ご理解をいただいたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 私は始めて参加したのですが、今まで皆さんがどういう意見を言うか、ちょっと聞きよったんです。前回、あるいは前々回、これ3回目になるのですが、だぶってもいけないとか、いろんなことを思いながら聞いたんですけど、ハード的な内容が多かったかなと。いろいろ意見はあるのですが、私はこのテーマ①の「住み続けたい魅力あるまちへ」にそって、私の個人的な思いがあったので、ちょっとお話するんですけど。実は私は、白水台へ来てから18年ぐらいになるんです。元々転勤族で、松山に出たり入ったりしていたものですから、松山市内で今8カ所目ぐらいなんです。

住んでいるところが。したがって、公民館とか、その地域によっていろいろ特色があっていいのですが、私は、この伊台の公民館はよくやっているとと思っているので、例えばウォーキングとか、いろんな講座も参加しているんです。最初に来た時に思ったのは、まさしくテーマに書いてあるように、伊台地区を全く私知りませんから、どういうところなんだろうかと、まさしく魅力って何だろうかと思ったわけです。だけど、それに関するものは、はっきり言ってなかったんです。私もいろんなところへ参加するのが好きで、桑原の淡路ヶ峠というところにちょこちょこ登りよったんです。桑原に登った時に、あそこの公民館に寄って、そういう話をしたら、割とごつい冊子を作っていて、タイトルは忘れましたが、ふるさとの何とか、まさしく桑原地区の歴史とか、いろんなことが載っているんです。かなり専門的な内容になっているんです。そういうものが、この伊台にないのかなと聞いた時に、昔に作ったものはあると言うけど、それこそ図書館じゃないですけど、そういうところに置いているのはあるらしいんです。だけど、私、桑原の冊子をいただいたんですけど、かなりこれ、素晴らしいものだと思います、こういうものを、例えば伊台地区の歴史とか、そういうものが分かるようなものを作るには、かなり経費もかかる話です。その辺は、何か市から補助とか、そういうものはないのですか。

【市長】 私の方で答えをいたします。まちづくり協議会さんがあって、まちづくり協議会さんに松山市からお金をお渡しして、地区で、例えば、桑原さんもそうだったと思いますけども、淡路ヶ峠の看板だったり、遊歩道の整備だったり、各地区でそういう景勝地の整備をされているんですよ。そういうまちづくり協議会の補助金とかがありますので、ご利用いただけたらと思います。よろしくお願いします。

【市長】 8時半になりましたので、時間の最後の最後までご意見をいただきました。今日、本当皆さんからたくさん意見をいただきまして、ありがとうございました。すぐにできるもの、また、ちょっと考えさせていただく、お時間をいただくものなど様々ありましたけれども、必ず1カ月を目処にお返事をさせていただきます。私からのお願いなのですが、私達はやっぱり、皆さんの生命は大事ですので、家具固定、どうぞよろしくお願いします。また、AEDの方も、どうぞよろしくお願いたします。最後に、今日も少し申し上げましたが、どうせ市役所に言ったって一緒と思わずに、市民の皆さんの役に立つ所で市役所、市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃなきゃいけないというふうに思っていますので、どうぞ遠慮なく言ってください。ちょっとそういうやり方はできないんですけど、

こういうやり方だったらできますよとか、いや、それできますよとか、他の地区ではこんなやり方でやってるんですよとか、そういうことをお伝えすることもできますので、どうぞ遠慮なく、敷居を高くせずに、遠慮なく言っていただいたらと思います。今日は本当にお付き合いいただきまして、誠にありがとうございました。

—了—